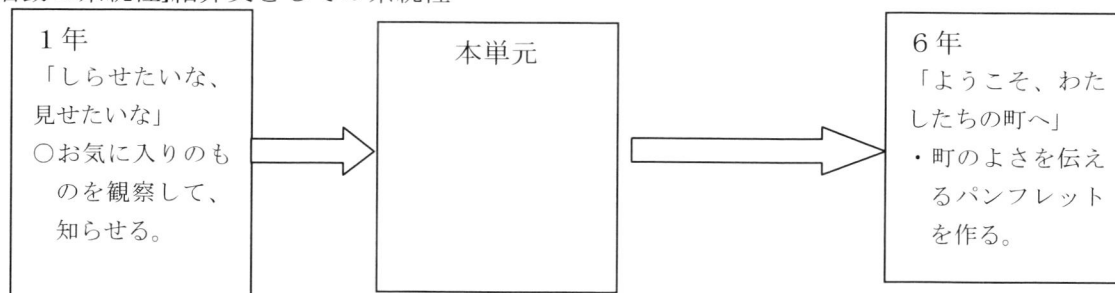


[言語活動の系統性]紹介文としての系統性



4 単元について

(1) 児童について

児童はこれまで1年生下の「しらせたいな、見せたいな。」の学習でお気に入りの生き物や植物を観察して、家の人や友達に紹介する学習をおこなっている。この学習を通して題材に必要な事柄をよく観察して集めたり、メモしたことを基に書いたりする力が付いてきている。2年生では、4月に「今週のニュース」においてメモや日記、ノート等から自分の「したこと」「見たこと」を集め、友達に知らせるために書くという「体験報告文」を書く活動を行った。5月には、「かんさつ名人になろう」の学習を通して、観察したことを詳しく書く「観察記録文」を書く活動を行っている。ここでは、観察する観点で詳しく見ることや様子を見て詳しく書き表し方ことを学習した。また、6月の「お話の作者になろう。」では、「はじめ・中・終わり」の構成を考えて創作文を書くという経験をしている。これらの学習を通し、児童は、経験したことや観察したことを主語・述語を意識したり、句読点に気を付けたりして分かりやすく書くことができるようになってきた。しかし、内容のまとまりを意識して段落を作って書くことやつながりのある文章を書くことについては、繰り返し指導し、定着を図っているところである。文の内容を決めることが難しかったり、書くことに苦手意識をもっていたりする児童もいる。

(2) 教材について

教材文は、「インタビューから見つけた友達のよさ」「観察から見つけた友達のよさ」「自分の友達への思い」という3つのまとまりからできている。友達のよさを伝えるために「観察」し、それだけではわからないことを「インタビュー」し、そこから自分はその友達をどうとらえているのかという「思い」を書き表せばいいことが簡潔な文章で表現されている。初めて友達の紹介文を書こうとしている児童にとって構成の見通しをもちやすい文章である。また、先に結論を述べてから「どうしてかという～からです。」という文で理由を分かりやすく簡潔に伝える表現や「～そうです。」という伝聞表現が使われていてわかりやすく伝えるための新たな表現方法のよさを感じ取ることに適した文章である。また、児童は、全体の場で目立っている友達のよさは分かっているも、「好きなこと」「自慢できること」などについては分かっていることが多い。そのようなことをインタビューを通して聞き取り、ある一面しか見ていなかった学級の仲間に新たな一面があることを発見することは児童にとって興味深いことであろう。そして、それをほかの人に教えてあげようという気持ちが生じてくるであろう。友達のよさを見つける取材活動を充実させ発見の喜びから書いて表現する楽しさを味わわせることができる教材である。

(3) 指導にあたって

第1次では、「これはだれでしょうクイズ」をクラス全員で行うことにより友達のよいところに向け、友達についてもっと知りたいという気持ちをもてるような導入を行う。そして、友達について知るためにはどのような学習をしたらいいか計画を立て、学習の見通しをもたせ、「友達のよいところ紹介カード」を作るという単元のゴールを提示する。また、友達のよさを見つける観点を子ども達に考えさせたり、完成した紹介文を友達と読み合い感想を交流するというゴールを提示したりすることにより、子供たちの学習への意欲が高まると考えられる。

第2次では、友達の良さを見つけるために児童が考えた観点到に沿ってメモを書かせ、メモから分

かる友達の人柄を考えさせる。観点に沿ってメモを書き、友達の人柄を考えるためには、紹介する友達との関わりが深くなければむずかしい。そこで、2学期初めから、意図的に座席を考え、友達の良いところ探しをさせることにより、スムーズに活動を進めることができるように配慮していきたい。次に、観察したことだけでは分からないことを友達に尋ねて、友達の得意なことや自慢できることについて深く聞いていく。紹介文を書く時に困らないように良さが伝わる内容について尋ねさせるようにする。そして紹介文を書く時に適切な内容を捨選択させることにより、紹介文の内容が深まるようにしていきたい。更に、短い文で書いたメモを順序を考えて並べ次につなげる言葉を使って文と文をつなげて文章に書き直し、メモから文章に書き表す力を付けさせる。

第3次では、紹介文を読み合い、初めて分かった友達のよいところや書いてもらって嬉しかったことを伝え合う活動をする。その際、紹介文の書き方のポイントに沿って読み、感想を伝え合うことにより、友達のよさを再発見する場としたい。

5 単元の指導目標と評価規準

<p>○友達のよいところを意欲的に探し、紹介文を書こうとしている。【関心・意欲・態度】</p> <p>○経験したことや聞いたことから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集め、語と語や文と文の続き方に注意しながらつながりのある文を書くことができる。【書く】</p> <p>○句読点やかぎ（「」）の使い方を理解し、正しく使うことができる。</p> <p style="text-align: right;">【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p>		
国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○友達のよいところを意欲的に探し、紹介文に書こうとしている。	<p>○ 見たり聞いたりしたことから、友達のよいところを思い出したり、尋ねたりして紹介文に必要な事柄を集めている。【書ア】</p> <p>○ 集めたことを基にして、友達を紹介する文章を書いている。【書ウ】</p>	○句読点の打ち方を理解して文の中で使っている。【伝国イ（オ）】

6 単元の指導計画（全8時間 B書くこと8時間）

次	時	○目標 ・主な学習活動 ☆単元を貫く言語活動につながる学習活動	評価規準
第1次	1	<p>○ 学習のめあてを理解し、学習計画を立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「これはだれでしょうクイズ」をする。 ・ 友達のよいところを紹介する観点を考える。 <p>☆単元の学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>「友だちのよいところしょうかいカード」をつくらう</p>	【関】「友だちのよいところしょうかいカード」を作るといふねらいを理解し、学習の見通しをもっている。
第2次	2	<p>○モデル文から紹介文の様式と取材の仕方を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紹介文の様式と取材の仕方を学ぶ。 <p>☆紹介文を書く時に必要な事柄を整理し、紹介文について理解する。</p>	【書ア】見たり聞いたりしたことや自分が経験したことから書く材料を決めてメモしている。
	3	<p>○ 紹介する友達のよいところを観点に沿ってメモを書き、人柄を考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えた観点に沿って取材メモに書く。 <p>☆紹介するための観点に沿って、友達のよさを思い出して取材メモに書き、人柄を考える。</p>	

	4	○ もっと知りたいことを考えて、友達に質問する。 ・ 質問する内容と方法を考える。 ・ 友達に質問してメモを書く。 ☆もっと知りたいことを考えて、友達に質問してメモをとる。	【伝言】 句読点やかぎ「」を正しく使っている。 【書ウ】 語と語や文と文との続き方に注意しながら、観点に合った紹介文を書いている。
	5	○ 書いたメモから特にみんなに伝えたいことを選んでいく。 ・ メモしたことからみんなに伝えたいことを選び出し、色カードに書き出す。 ☆メモしたことからみんなに伝えたいことを選び出し、色カードに書き出す。	
	6	○ メモをもとにしなが、紹介文を書いている。 ・ ①よいところ1 ②つなぎことば③よいところ2 ④思ったことを色カードのメモをもとに書く。 ・ 構成や題名を考える ☆メモをもとにしなが、紹介文を書いている。	
	7	○ 「友だちのよいところ紹介カード」を作る。 ・ モデルの紹介カードを参考にし、紹介カードを作る。 ☆紹介文を清書し、友達の写真を貼り紹介カードを作る。	
第3次	8	○ お互いの紹介カードを読み合い、感想を伝えることができる。 ・ 友達とカードを読み合う。 ・ 友達に感想を伝える。 ☆紹介文を読み合い、初めて分かった友達のよいところや書いてもらって嬉しかったところを伝え合う。	【関】 友達の書いた文章を読んで嬉しかったことを進んで伝えている。

7 本時の指導

- (1) ねらい 紹介する友達のよいところを観点に沿ってメモを書き、友達の人柄を考える。
- (2) 視点2にかかわって
 - ・ 友達のよいところを見つける観点に照らし合わせたメモのモデル文を提示する。
 - ・ 4つの観点を明確に意識できるようなワークシートを工夫する。
- (3) 展開

	主な学習活動	留意事項と評価
導入 7分	1 前時の想起をする。 ・ 友達のよさを見つける時の観点を確認する。 2 本時の課題を把握する。 友だちのよいところを思い出してメモを書き、どんな人か考えよう。 3 紹介する友達を確認する。	みんなで考えた観点 ・ 言ってくれたこと ・ いつもしていること ・ 見かけたこと ・ してくれたこと ・ ①メモを書くこと②メモから分かる友達の人柄を書くこと。③ふりかえりの観点に沿って自己評価すること。④友達と読み合い感想を伝えることを紙板書し、見通しをもたせる。

		<ul style="list-style-type: none"> 隣の友達のよいところを紹介することを確認する。
展開 33分	<p>4 友達のよいところを思い出してメモを書く。</p> <p>(1) メモの書き方を確かめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4観点について書くこと。 ・一文を短く書くこと。 <p>(2) 書いたメモからわかる友達の人柄を書くことを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな人が書くこと。 <p>(3) 書き終わったらメモの書き方に沿って自己評価する。</p> <p>5 メモを読み合い、交流する。</p> <p>(1) 書いたメモを読み合い、読んだ感想を付箋紙に書いて伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観点に沿ったメモのモデル文を提示し、メモの書き方を理解させる。 ・観点を意識し、メモから人柄を考えることができるようなワークシートを用いる。 ・友達の良さをたくさん見つけるためにどの観点にも全て書くことを確かめる。 ・人柄が分かる言葉を掲示しておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】 B 観点に沿って、友達のよさについてメモを書き、メモから分かる人柄を書いている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>支援の方法 事前に集めた友達のよさを参考にさせ、助言する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・メモを読んでうれしかったことを付箋紙に書いて伝える。
終末 5分	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価する。 <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メモを書く時に気を付けたことを板書で確認し、まとめとする。 ・本時のねらいに沿って自己評価する。 ・次時は、もっと知りたいことを考え友達に質問してメモを書くことを確認する。

(4) 板書計画

四、友だちと読み合いかんそうをつたえる。

- ・読んでうれしかったことをふせんに書こう。

友だちのよいところしょう会カードをつくらうよ。

□□友だちのよいところを思い出してメモを書き、どんな人が考えよう。

一、友だちのよいところを思い出してメモを書く。

□□四つのことについて書く。

□□一つのメモをみじかく書く。

二、友だちがどんな人が書く(二つのことについてでもいい)ことについてふりかえる。

三、ふりかえる。

・自分のメモを読んでチェックしよう。